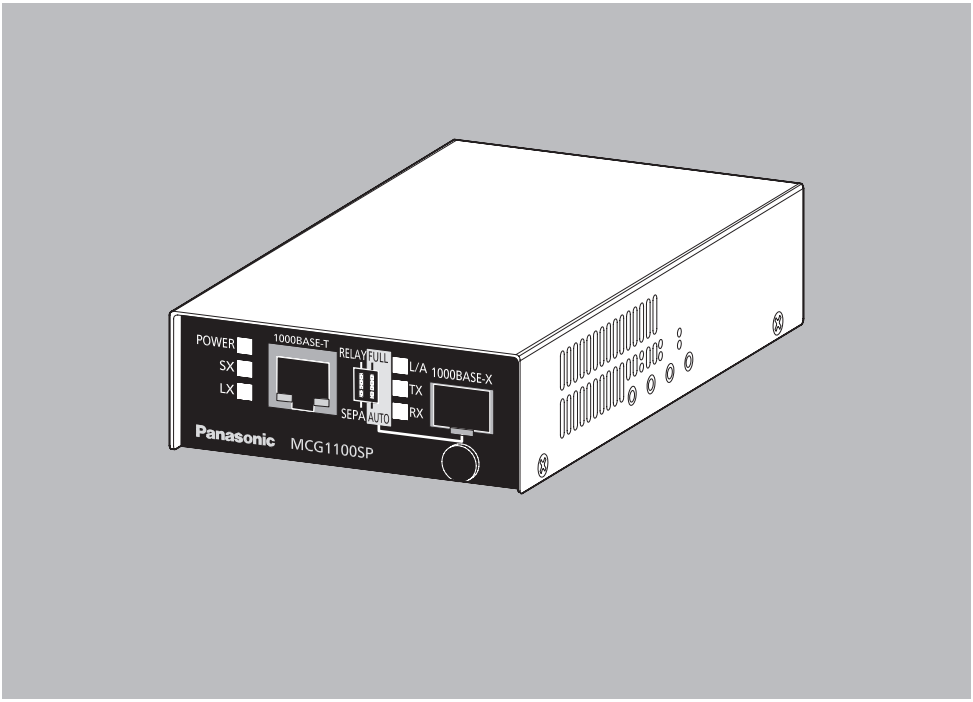
Panasonic

取扱説明書

MCG1100SP 品番 PN61320K
MCG1100SP-SX 品番 PN61324K
MCG1100SP-LX 品番 PN61325K

●お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「**安全上のご注意**」（2 ～ 4 ページ）を必ずお読みください。
●いかなる場合でも、お客様で本体を分解した場合には、保証対象外となります。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、
取扱説明書とともに大切に保管してください。
●保証書は下記URLよりダウンロードいただけます。
https://panasonic.co.jp/ew/pewnw/support/download/index.html



パナソニックEWネットワークス株式会社
〒105-0021　東京都港区東新橋２丁目 12 番７号
© Panasonic Electric Works Networks Co.,Ltd. 2024
C0121－20624

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

⃠ してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

⃠ 禁止	●交流 100V 以外では使用しない 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。 ●雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない 感電の原因になるおそれがあります。 ●この装置を分解・改造しない 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。 ●電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になるおそれがあります。 ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・故障の原因になるおそれがあります。 ●開口部やツイストペアポート、コンソールポート、SFP 拡張スロットから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。 ●水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所、導電性のほこり、腐食性ガス、可燃性ガスのある場所で保管・使用しない 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。 ●直射日光の当たる場所や温度の高い場所で、保管・使用しない 内部の温度が上がり、火災の原因になるおそれがあります。 ●振動・衝撃の多い場所や不安定な場所で保管・使用しない 落下して、けが・故障の原因になるおそれがあります。 ●この装置を別売のゴム足（マグネット内蔵）（PN71054）で取り付ける場合は、振動・衝撃の多い場所や不安定な場所、装置の下を人が通るような場所（高所）に設置しない 落下して、けが・故障の原因になるおそれがあります。 ●この装置を火に入れない 爆発・火災の原因になるおそれがあります。

⚠注意

禁止	**●床、床下、天井裏、盤など塵埃環境で使用しない** 床や床下、天井裏、盤など、ほこりの多い場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。ラック内など、ほこりが発生しづらい環境にて運用いただくことを推奨します。 **●レーザ光を見ない** 視力障害の原因になるおそれがあります。（クラス 1 レーザ製品） **●ツイストペアポートに 1000BASE-T 以外の端末を接続しない** 故障の原因になるおそれがあります。 **●SFP ポートに、1000BASE-SX または 1000BASE-LX 以外の端末を使用しない** 故障の原因になるおそれがあります。
必ず守る	**●故障時は電源プラグを抜く** 電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になるおそれがあります。 **●必ずアース線を接続する** 感電・誤動作・故障の原因になるおそれがあります。 アース接続されたコンセントに接続してください。 **●電源コードを電源ポートにゆるみがないよう、確実に接続する** 感電や誤動作の原因になるおそれがあります。 **●ツイストペアポート、SFP 拡張スロットで手などを切らないよう注意の上取り扱う** **●この装置を壁面に取り付ける場合は、本体および接続ケーブルの重みにより落下しないよう確実に取り付け、設置する** 落下などにより、けが・故障の原因になるおそれがあります。 **●この装置をラックマウントする場合は、別売のメディアコンバータ用 19 インチラックマウントキット（116102-03d）に含まれる固定金具 1 個とねじ（固定金具用）3 本を使用し、確実に固定してから、設置する** 確実に固定されない場合、落下などにより、けが・故障の原因になるおそれがあります。 **●光ファイバーケーブルのコネクタ部がほこりなどで汚れていないか確認する** 正常に光信号が伝送されず、誤動作・故障の原因になるおそれがあります。汚れている場合は、必ず清掃してから、光ファイバーポートに接続してください。 **●性能維持のために定期的にメンテナンスをする** この装置の管理者を決めていただき、定期的なメンテナンスを必ず実施してください。メンテナンス時に確認が必要な項目を列挙した点検表は、当社ホームページに掲載しております。 **●この装置を極めて高い信頼性が必要とされる用途に使用する場合には、安全性、信頼性の確保に万全を期するよう注意する** 極めて高い信頼性が必要とされる用途（鉄道、航空、医療用等での使用のうち、通信障害による影響度が極めて高いシステム、人命に直接影響するシステム）に使用されることを意図した設計・製造はされておりません。

⚠注意

必ず守る	**●経年劣化などの使用環境に起因した障害に注意する** 稼働率、使用環境などの条件により異なりますが、部品の経年劣化等により、性能が低下することがあります。この装置は、設置後 5 年程度での交換を推奨いたします。 **●この装置を使用できる環境の制限に注意する** ①商用電源線と通信線を隔離してください。一般社団法人日本電気協会発行の内線規程に記載のとおり、配線と他の配線または弱電流電線、光ファイバーケーブル、金属製水管、ガス管などと隔離してください。 通信線にノイズが生じ、通信不具合の原因になるおそれがあります。 ②VCCI クラス A 情報技術装置については、家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

使用上のご注意

●内部の点検・診断は販売店にご依頼ください。
●商用電源は必ずこの装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。
●この装置を設置・移動する際は、電源コードを外してください。
●この装置を清掃する際は、電源コードを外してください。
●仕様限界をこえると誤動作の原因になるおそれがありますので、ご注意ください。
●この装置をゴム足（マグネット内蔵）で取り付ける場合は、ケーブルの重みなどで装置がずれたり落下したりしないことをご確認ください。
また、ケーブルを接続するときや SFP モジュールを挿入するときは、装置全体を押さえて接続・挿入してください。
●マグネットに磁気カードなどを近づけないでください。
記憶内容喪失のおそれがあります。
●この装置を OA デスクに取り付けた時、取り付けたまま、ずらさないでください。
塗装面によっては傷がつくおそれがあります。
●RJ45 コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子、SFP 拡張スロット内部の金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。
静電気により故障の原因になるおそれがあります。
●コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。
静電気により故障の原因になることがあります。
●落下など強い衝撃を与えないでください。
故障の原因になるおそれがあります。
●この装置を高所に取り付ける場合は、付属の取付金具を使用し、壁面に確実に固定してください。
マグネットで高所に取り付けた場合は、落下によるけがや製品破損のおそれがあります。
●周囲の温度が 0 ～ 50℃の場所でお使いください。
また、以下場所での保管・使用はしないでください。
（仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください）
－ 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所
－ ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所（カーペットの上など）
－ 直射日光が当たる場所
－ 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所
－ 振動・衝撃が強い場所
上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因となることがあり、保証しかねますのでご注意ください。
●この装置の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり誤動作の原因になるおそれがあります。
●この装置は放熱効果をあげるためスチールデスクへの取り付けを推奨しております。
壁面や床面に設置すると、放熱により壁材または床材が変色（変形）するおそれがあります。
●この装置に長時間身体を触れないでください。低温やけどのおそれがあります。
●この装置を上下に重ねて置かないでください。また、左右に並べておく場合はすき間を20mm以上設けてください。
内部に熱がこもり、故障・誤動作の原因になるおそれがあります。
●以下仕様のマルチモード対応の光ファイバーケーブルをご使用ください。
PN54022 挿入時：
最大伝送距離 550m（50/125μm OM4 MMF ケーブル（帯域 4,700MHz・Km）使用時）
最大伝送距離 550m（50/125μm OM3 MMF ケーブル（帯域 2,000MHz・Km）使用時）
最大伝送距離 550m（50/125μm OM2 MMF ケーブル（帯域 500MHz・Km）使用時）
最大伝送距離 500m（50/125μm OM2 MMF ケーブル（帯域 400MHz・Km）使用時）
最大伝送距離 275m（62.5/125μm OM1 MMF ケーブル（帯域 200MHz・Km）使用時）
最大伝送距離 220m（62.5/125μm OM1 MMF ケーブル（帯域 160MHz・Km）使用時）
PN54024 挿入時：
最大伝送距離 10km（ITU-T G.652 対応 SMF ケーブル使用時）
最大伝送距離 550m（50/125μm MMF ケーブル（帯域 500MHz・Km）使用時）
最大伝送距離 550m（50/125μm MMF ケーブル（帯域 400MHz・Km）使用時）
最大伝送距離 550m（62.5/125μm MMF ケーブル（帯域 500MHz・Km）使用時）
●マルチモード対応の光ファイバーケーブルを使用の際は必ずモードコンディショニングパッチコードを付けてご使用ください。
正常に通信できないおそれがあります。

1．お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害およびこの装置の使用または使用不能に関して発生したいかなる損害（逸失利益、機会損失等を含みますがこれらに限らないものとします）もその責を一切負わないものとしますので、ご了承ください。
2．本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3．万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　VCCI－A

1 製品概要

●MCG1100SP-SXは、1000BASE-Tと1000BASE-SXのインターフェースを変換する機器です。
●MCG1100SP-LXは、1000BASE-Tと1000BASE-LXのインターフェースを変換する機器です。

1.1 特　徴

●動作環境温度は 50℃まで対応しています。

●電源を内蔵していますので、AC アダプタの収納スペースを気にする必要がありません。

●壁面 （ 木板など ） に取り付けるための取付金具を同梱していますので、別途ご購入頂く必要がありません。

●モード切替スイッチをRELAYに設定した場合、MCG1100SP-SX同士、または、MCG1100SP-LX同士と接続機器すべてが通信可能な状態である場合にのみリンクを確立します。
これにより、リンクダウンによる経路上の障害を接続機器側にて検出できます。
接続機器同士でリンクアグリゲーション機能を使用する場合に有効です。

●SFP（※1）モジュール抜け防止金具を付属しています。
ご使用時、SFPモジュールの意図しない抜けを防止できます。
※1 SFP : Small Formfactor Pluggable

●ファンレス設計により、騒音やファン障害などの問題がありません。

●ツイストペアポートはストレート/クロスケーブル自動判別機能 （AUTO MDI/MDI-X） を搭載しています。
端末、ネットワーク機器の区別を意識せず、ストレートケーブルを用いて相互接続できます。

●DDM機能（※2）を使ってLED表示することにより、機器、通信ケーブルの異常発生時に原因の切り分けが容易になります。
※2 DDM: Digital Diagnostic Monitoring

1.2 主な仕様

<table>
<tr><td>インターフェース</td><td>
ツイストペアポート　：RJ45 コネクタ （1 ポート）
伝送方式　：IEEE802.3ab　1000BASE-T
伝送速度　：1000Mbps　全二重
適合ケーブル　：ツイストペアケーブル
（EIA/TIA568 カテゴリー 5e 相当以上）
最大伝送距離　：100m
オートネゴシエーション機能：1000Mbps全二重モードで相手側機器と
ネゴシエーション実施
SFPポート（1 ポート）
<table>
<tr><td>品名</td><td>MCG1100SP-SX</td><td>MCG1100SP-LX</td></tr>
<tr><td>品番</td><td>PN61324K</td><td>PN61325K</td></tr>
<tr><td rowspan="2">適合規格</td><td>IEEE802.3z
1000BASE-SX</td><td>IEEE802.3z
1000BASE-LX</td></tr>
<tr><td colspan="2">SFF-8472（Diagnostic Monitoring Interface）</td></tr>
<tr><td>適合ケーブル</td><td>MMFケーブル</td><td>SMF,MMFケーブル</td></tr>
<tr><td>最大伝送距離</td><td colspan="2">20ページをご参照ください。</td></tr>
<tr><td>光ファイバーポート
コネクタ形状</td><td colspan="2">LCコネクタ（2芯）</td></tr>
<tr><td>光波長</td><td>850nm</td><td>1310nm</td></tr>
<tr><td>受光感度（最小値）</td><td>-18dBm</td><td>-21dBm</td></tr>
<tr><td>光送信強度</td><td>-9.5dBm～-4.0dBm</td><td>-9.0dBm～-3.0dBm</td></tr>
<tr><td rowspan="2">付属品</td><td>PN54022</td><td>PN54024</td></tr>
<tr><td colspan="2">光ファイバーポート保護キャップ（SFPモジュールに装着）1個</td></tr>
</table>
MMF：マルチモードファイバー　SMF：シングルモードファイバー
オートネゴシエーション機能：1000Mbps全二重モードで相手側機器と
ネゴシエーション実施 （工場出荷時設定）
モード切替スイッチで、1000Mbps 全二重に
固定設定可能
</td></tr>
<tr><td>電源</td><td>AC100V、50/60Hz、0.05A</td></tr>
<tr><td>入力電圧範囲</td><td>AC90～132V</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>MCG1100SP-SX　定常時最大 2.3W、最小 1.4W
MCG1100SP-LX　定常時最大 2.5W、最小 1.4W</td></tr>
<tr><td>動作環境</td><td>温度 0 ～ 50℃　湿度 20 ～ 80%RH（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td>保管環境</td><td>温度 -20 ～ 70℃　湿度 5 ～ 90%RH（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td>ファン</td><td>無</td></tr>
<tr><td>外形寸法</td><td>32mm（高さ）×85mm（幅）×150mm（奥行き）（突起部は除く）</td></tr>
<tr><td>質量｛重量｝</td><td>MCG1100SP　610g
MCG1100SP-SX　630g
MCG1100SP-LX　630g</td></tr>
<tr><td>適合規制</td><td>一般財団法人 VCCI 協会 クラス A 情報技術装置
VCCI Council Class A</td></tr>
</table>

1.3 付属品

必ずお確かめください。
内容物に不足があった場合は販売店にご連絡ください。

●SFP モジュール抜け防止金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 個
●SFP モジュール抜け防止金具用ピン（メス）・・・・・・・・・・・・ 1 個
●SFP モジュール抜け防止金具用ピン（オス）・・・・・・・・・・・・ 1 個
●SFP モジュール抜け防止金具用キャップ（本体に装着）　・・・・・ 1 個
●取付金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 個
●ねじ（取付金具の壁取付用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 本
●ねじ（取付金具と本体接続用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 本
●ゴム足・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 個

MCG1100SP-SX（PN61324K） のみ
●1000BASE-SX SFP Module(i)（PN54022）・・・・・・・・・・・ 1 個

MCG1100SP-LX（PN61325K）のみ
●1000BASE-LX SFP Module(i)（PN54024）・・・・・・・・・・・ 1 個

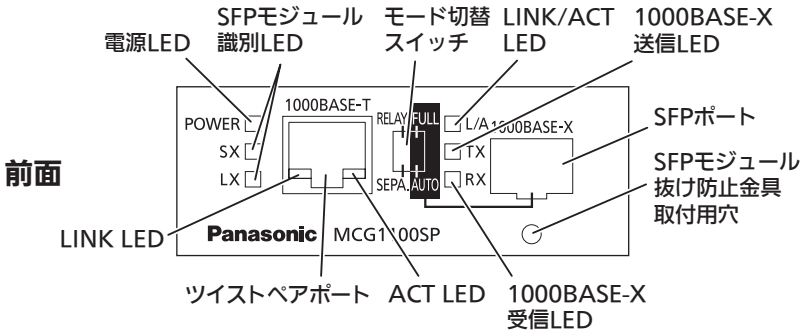
【別売オプション】

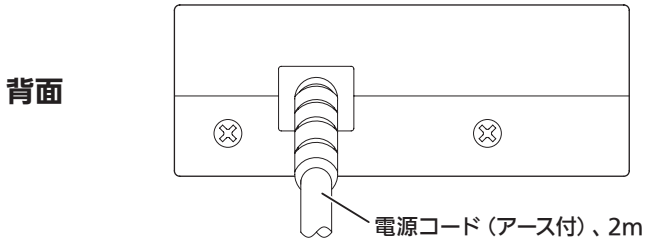
● PN71054　　ゴム足（マグネット内蔵）（4個入り）
● 116012-03d　メディアコンバータ用19インチラックマウントキット[受注生産品]

1.4 基本動作

この装置に電源スイッチはありません。電源プラグをコンセントに差し込むだけでご使用いただけます。
この装置は、100V（50/60Hz）の AC 電源で動作します。
はじめに、モード切替スイッチを設定後、電源を投入してください。
電源投入後にモード切替スイッチを操作した場合、設定が有効にならない場合があります。
通電後、LEDが全点灯します。その後、POWER（電源）LEDが緑点灯します。
工場出荷時設定の場合、1000BASE-T の機器をツイストペアケーブルで接続するとツイストペアポートのLINK LEDが緑点灯します。
SFPポートへSFPモジュールを挿入し、光ファイバーケーブルで接続するとSFPポート側のL/A（LINK/ACT）LEDが緑点灯します。
ツイストペアポートに接続されている機器との通信によって、ツイストペアポートのACT LEDが緑点滅します。
接続機器の電源が投入されていないなど、接続機器が正常に動作していない場合は、ツイストペアポートのLINK LED、ACT LED、SFPポートのL/A（LINK/ACT）LEDは点灯しません。

2 各部の名称と機能





●POWER（電源）LED

緑点灯　　：電源 ON
消灯　　：電源 OFF

●SX, LX（SFPモジュール識別）LED

SX緑点灯　　：1000BASE-SXモジュール（PN54022）挿入中
LX緑点灯　　：1000BASE-LXモジュール（PN54024）挿入中
消灯　　：対応SFPモジュール未挿入

●1000BASE-T（ツイストペアポート）

1000BASE-T専用のポートです。
1000BASE-T 端末、ハブ、リピータ、ブリッジ、スイッチングハブなどを接続します。
ツイストペアケーブル （CAT5e 以上 ）のケーブル長は 100m 以内に収まるように設置してください。

●LINK LED

緑点灯　　：1000Mbps 全二重でリンクが確立
消灯　　：端末未接続、または、1000Mbps 全二重 未サポート端末接続

●ACT LED

緑点滅　　：パケット送受信時
消灯　　：パケット送受信無し、または、端末未接続

2 各部の名称と機能

●モード切替スイッチ（変更後は必ず電源 OFF/ON を実行してください）

・RELAY / SEPA.

RELAY　：全ての接続端末が通信可能な状態である場合にのみリンクを確立
（全てのインタフェースの接続状態を確認しますので
リンクが確立するまでに数秒時間がかかることがあります）
注意　RELAY モードはこの装置同士を接続する場合のみ有効です。

SEPA.　：各々のインターフェース間が通信可能な接続状態であれば
リンクを確立（工場出荷時設定）

・FULL / AUTO（SFPポートの設定）

FULL　：1000Mbps 全二重固定で接続する場合に使用

AUTO　：1000Mbps でオートネゴシエーション機能をサポートする端末と
接続する場合に使用（工場出荷時設定）
注意　この装置同士を接続する場合はAUTOモードに設定してください。

詳しくは、「2.1 モード切替スイッチについて」をご参照ください。

●L/A（LINK/ACT）LED

緑点灯　：SFPモジュール側（1000BASE-X）リンク確立
緑点滅　：SFPモジュール側（1000BASE-X）パケット送受信時
消灯　：SFPモジュール側リンク未確立

●TX（1000BASE-X送信）LED

緑点灯　：正常動作
橙点滅　：送信光強度異常（※）
橙点灯　：SFPモジュールの温度異常（0℃以下、または85℃以上の場合に点灯）
橙点灯かつ
RX LED橙点灯　：DMIアクセス異常
消灯　：SFPモジュール未挿入

●RX（1000BASE-X受信）LED

緑点灯　：正常受信
橙点滅　：受信光強度異常（※）
消灯　：受信なし

※ DDM機能により、正常光強度範囲から超過したことを検出し、通信異常が
発生しうる状態を表します。装置自体の問題を示す機能ではありません。
異常状態表示を解除するには、原因を除去した上で、電源OFF/ON、または、
SFPモジュールの抜き差しを行ってください。
詳しくは、19～21ページの「故障かな？と思ったら」をご参照ください。

●1000BASE-X（SFPポート）

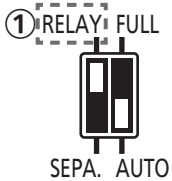
1000BASE-SX、または、1000BASE-LX用のポートです。
付属品1000BASE-SX SFP Module または1000BASE-LX SFP Moduleを挿入してください。

●SFPモジュール抜け防止金具取付用穴

付属品を取り付けて、SFPモジュールを抜けにくくする金具を接続するための穴です。
工場出荷時にはキャップが装着されています。
詳しくは、「3.2 モジュール抜け防止金具」をご参照ください。

2.1 モード切替スイッチについて

モード切替スイッチ　RELAY/SEPA（左）



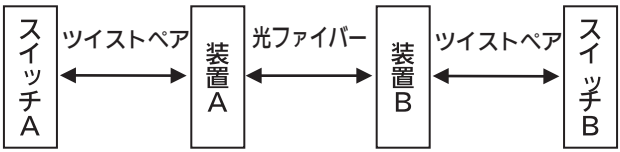
RELAY：全ての接続端末が通信可能な状態である場合にのみリンクを確立する機能です。（全てのインタフェースの接続状態を確認しますのでリンクが確立するまでに数秒時間がかかることがあります）

注意

- MCG1100SP-SX（PN61324/PN61324K）およびMCG1100SP-12（PN54021K挿入時）の組合せで接続、または、MCG1100SP-LX（PN61325/PN61325K）およびMCG1100SP-12（PN54023K挿入時）の組合せで接続する場合のみ有効です。
- モード切替スイッチ（右）は AUTOに設定してください。装置同士で設定が異なると正常動作しません。
- モード切替スイッチの変更後は必ず電源OFF/ONを実行してください。

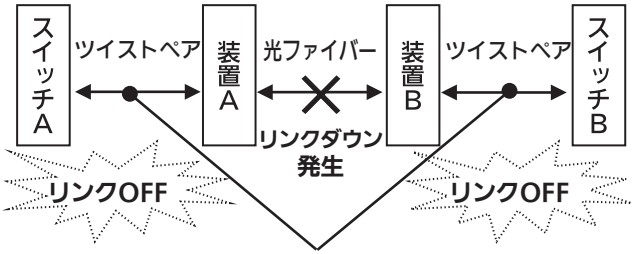
例として、下図のように装置A-B間でリンクダウンが発生した場合、装置AとスイッチングハブA間、およびこの装置BとスイッチングハブB間のリンクをOFFにします。この機能により、スイッチングハブA-B間のいずれかの伝送路でリンクダウンなどが発生した場合、スイッチングハブA・Bともに伝送路の異常を認識することができます。

全ての接続機器が通信可能な状態である場合



スイッチングハブA・Bに対してリンクを確立します。

スイッチングハブA-B間のいずれかの伝送路でリンクダウンなどが発生した場合



装置AとスイッチングハブA間、および装置BとスイッチングハブB間のリンクをOFFにします。

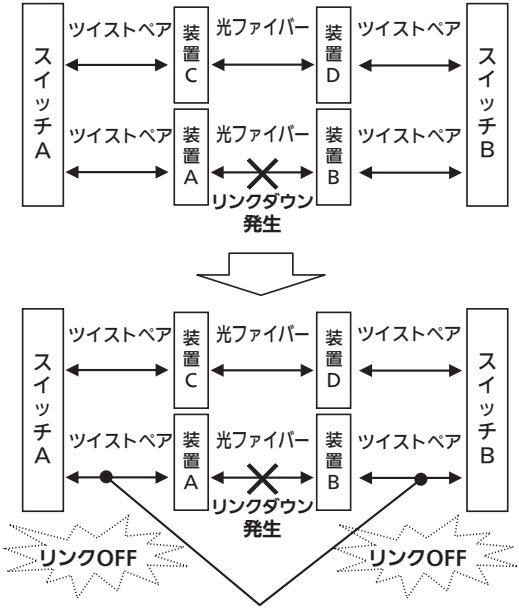
スイッチングハブでリンクアグリゲーション 機能を設定する場合

スイッチングハブでリンクアグリゲーション機能を設定する場合、以下の条件を全て満たす必要があります。

- リンクアグリゲーションの方式はLACP でなく、Manual（Static）であること。
- MCG1100SP-SX（PN61324/PN61324K）およびMCG1100SP-12（PN54021K挿入時）の組合せで接続、または、MCG1100SP-LX（PN61325/PN61325K）および MCG1100SP-12（PN54023K挿入時）の組合せで接続されていること。
  （スイッチングハブの1000BASE-Xポートへ直接接続しないこと。）
- モード切替スイッチ（左）/（右）がそれぞれRELAY/AUTOに設定されていること。

例として、下図のようにスイッチングハブ A-B 間でリンクアグリゲーションを設定し、この装置 A-B 間でリンクダウンなどが発生した場合、この装置 A とスイッチングハブ A 間、およびこの装置 B とスイッチングハブ B 間のリンクを OFF にします。この装置 A-B 間を経由した伝送路はリンクダウンしていますので、この装置 C-D 間を経由した伝送路のみでリンクを確立し、正常な伝送が行えます。

RELAY モードに設定していない場合、リンクダウンなどが発生した際に正常な伝送が行えない場合があります。
RELAY モード設定時は、対向に接続したメディアコンバータも RELAY モードに設定してください。設定が異なると正常に動作いたしません。

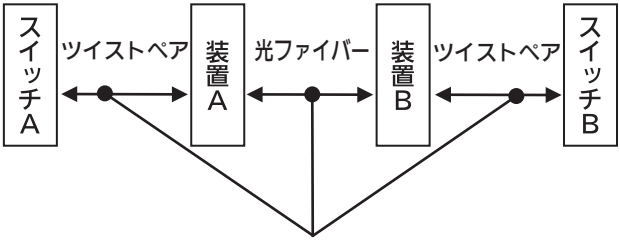


装置A-B間でリンクダウンなどが発生した場合、
装置C-D間を経由した伝送路のみでスイッチングハブ
A-B間のリンクを確立します

モード切替スイッチ　RELAY/SEPA（左）

②

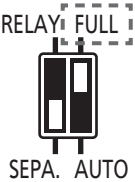
SEPA.：各々のインターフェース間が通信可能な接続状態であればリンクを確立する機能です。（工場出荷時設定）



各々のリンクが確立した場合にリンクLEDが点灯します。

注意
モード切替スイッチの変更後は必ず電源 OFF/ON を実行してください。

モード切替スイッチ　FULL/AUTO（右）（SFPポート）

③ 

FULL ：1000Mbps 全二重固定に設定します。
接続機器が1000BASE-Xのオートネゴシエーションに対応していない場合を除き、通常は AUTOでご利用ください。

④

AUTO：オートネゴシエーションモードに設定します。
（工場出荷時設定）
通常はこの設定でご利用ください。
接続機器が1000BASE-Xのオートネゴシエーションに対応していない、または AUTOでリンクが確立しない場合に限りFULLに設定してください。

注意
・この装置同士を接続する場合は AUTOモードに設定してください。
・モード切替スイッチの変更後は必ず電源OFF/ONを実行してください。

モード切替スイッチ　推奨設定一覧

SFPポート接続対向機		モード切替スイッチ(左)	モード切替スイッチ(右)
品名	品番		
MCG1100SP-12(PN54021K挿入) MCG1100SP-12(PN54023K挿入) MCG1100SP-SX MCG1100SP-LX MCG1100SP-SX MCG1100SP-LX MC1000SX	PN61350 PN61350 PN61324K PN61325K PN61324 PN61325 PN61314	RELAY または SEPA.(※1)	AUTO
1000BASE-SX SFP Module 1000BASE-LX SFP Module	PN54022 PN54024	SEPA.(※2)	AUTO
リンクアグリゲーションを有効にしているスイッチングハブに、以下のメディアコンバータを接続している場合 MCG1100SP-12（PN54021K挿入） MCG1100SP-12（PN54023K挿入） MCG1100SP-SX MCG1100SP-LX MCG1100SP-SX MCG1100SP-LX MC1000SX	PN61350 PN61350 PN61324K PN61325K PN61324 PN61325 PN61314	RELAY	AUTO
1000BASE-Xオートネゴシエーション非対応端末		SEPA.(※2)	FULL

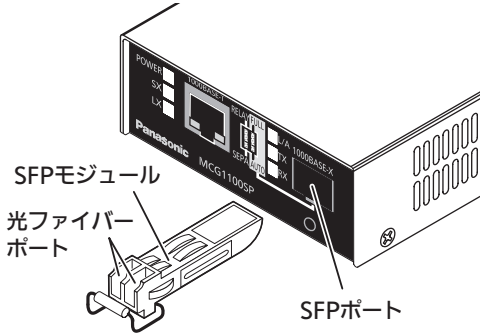
※1：この装置と同一の設置にしてください。
※2：RELAYは動作サポート外。

3 光通信モジュール

光通信モジュールとして、付属のSFPモジュールを使います。
SFPモジュールの光ファイバーポートに、光ファイバーケーブルを接続します。

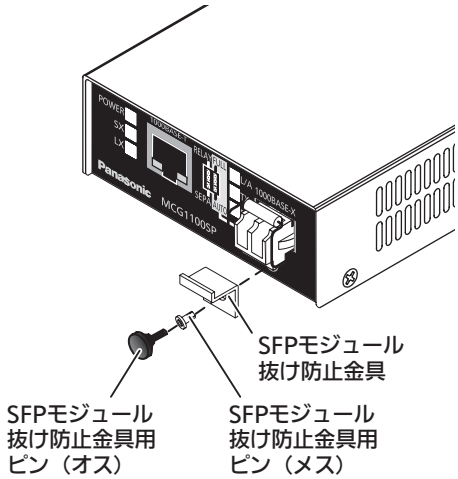
3.1 SFP モジュールの挿入

本体のSFPポートに、付属の
1000BASE-SX SFP Module、または、
1000BASE-LX SFP Moduleを挿入して
ください。



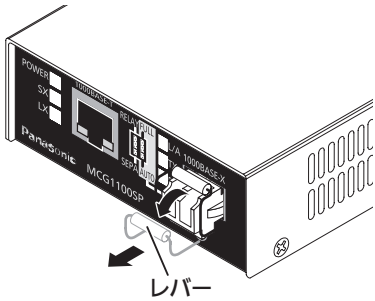
3.2 SFP モジュール抜け防止金具

本体装着済みの黒色のSFPモジュール抜け
防止金具用キャップを外し、右図のように
付属の部材を装着することにより、
SFPモジュールの抜け防止が図れます。
SFPモジュールを取り外す場合は、まず、
この金具を取り外してください。
この金具を取り外すには、初めに黒色の
SFPモジュール抜け防止金具用ピンを
外してください。



3.3 SFP モジュールの取り外し

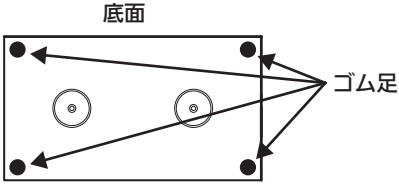
SFPモジュールを取り外す場合は、まず、
SFPモジュール抜け防止金具が装着されて
いないことを確認してください。
次に、光ファイバーケーブルをケーブルの
ラッチを解除して外したあと、右図のように
レバーを90度倒し、モジュールのラッチが
解除された状態でモジュールを引き抜いて
ください。



4 設　置

4.1 水平棚などへの設置

(1) 付属品のゴム足を本体底面に貼り付ける
(2) 水平な場所に設置する

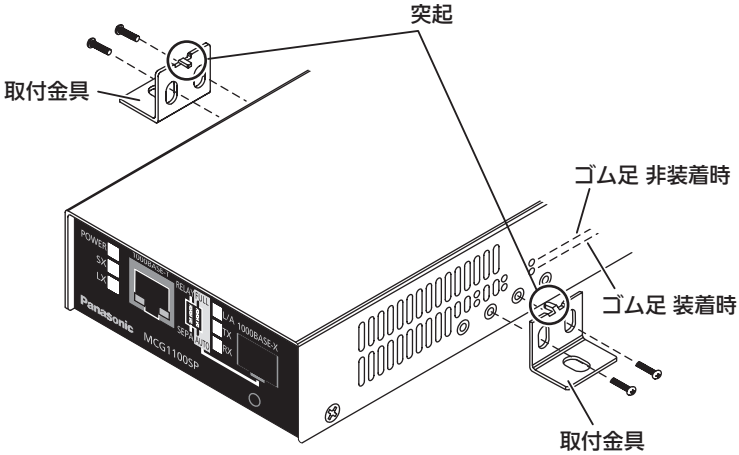


注意

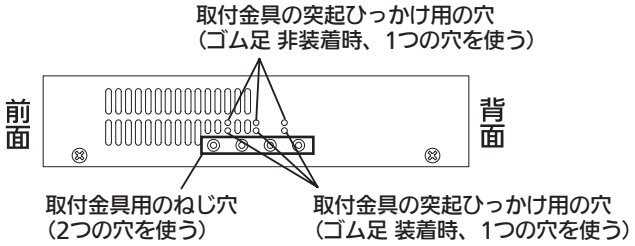
・積み重ねて使用しないで下さい。
・左右に並べて設置する場合は、
　すき間を 20mm 以上設けてください。

4.2 壁面（木板など）への設置

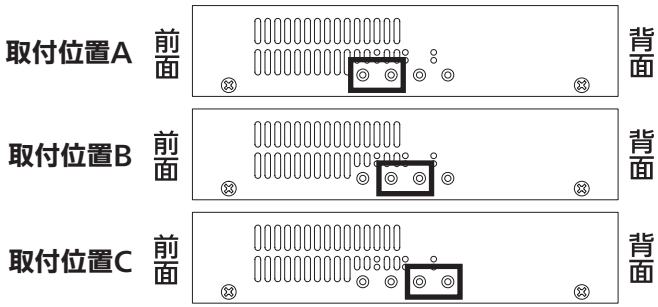
(1) 付属の取付金具とねじ（取付金具と本体接続用）を取り出し、この装置の側面にある 4 つの穴のうち、 2 つの穴を使って取付金具を接続してください。



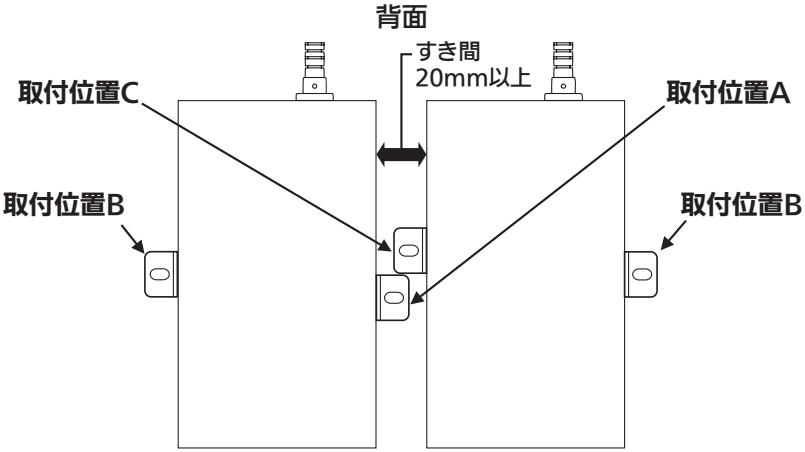
設置面から取付金具までの高さは、ゴム足の装着、非装着に合わせて
2段階で調整可能です。



本体側面の3通りの位置に取付金具を取り付けます。



取付位置 A と取付位置 C を組み合わせる事により、設置間隔を最小限 20 mm にすることが可能です。



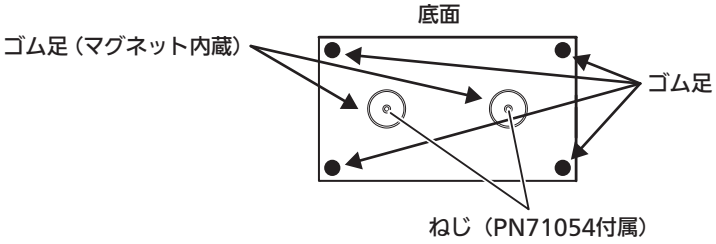
(2) 付属品のねじ（取付金具の壁取付用）で、しっかりとこの装置を壁面に取り付けてください。

注意

・取り付ける際、振動・衝撃の多い場所や不安定な場所、この装置の下を人が通るような場所に設置しないでください。
落下して、けが・故障の原因となることがあります。
・左右に並べておく場合は、すき間を 20mm 以上設けてください。

4.3 スチール製品への設置

別売オプションPN71054のゴム足（マグネット内蔵、4個入り）のうち2個を使用し、スチール製品への設置が可能です。
本体にゴム足（マグネット内蔵）を装着する場合は、設置面へのがたつき防止のため付属品のゴム足を本体底面へ装着してください。
詳しくは、「4.1 水平棚などへの設置」、および、PN71054の施工説明書をご参照ください。



ゴム足（マグネット内蔵）を使って、他の電子機器に設置しないでください。

4.4 ラックマウントキットへの設置

19 インチラックマウントキット（別売オプション）に付属の施工取扱説明書をご参照ください。

故障かな？と思ったら

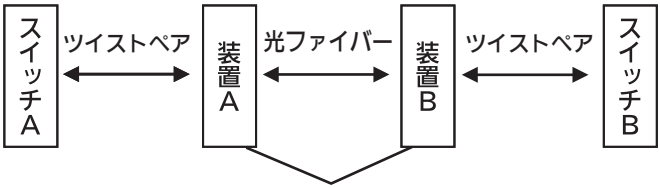
故障かなと思った場合には、まず下記の項目に従って確認してください。

◆ 通信ができない場合

●モード切替スイッチを変更後、電源OFF/ONを実行しましたか？
変更後は必ず電源OFF/ONを実行してください。

●この装置同士を接続する場合はAUTOモードに設定してください。

●モード切替スイッチの設定は正しいですか？
RELAYモードはこの装置同士を接続する場合のみ有効です。
正しい接続の仕方（例）



モード切替スイッチは、いずれもRELAY、AUTO に設定。

詳しくは、14ページの「モード切替スイッチ　推奨設定一覧」をご参照ください。

●ツイストペアポートに、1000Mbps全二重をサポートしない機器を
接続していませんか？
この装置は、1000BASE-T全二重専用です。

●この装置を接続しているネットワークの使用率が高すぎませんか？

POWER（電源）LEDが点灯しない場合

●電源プラグが外れていませんか？確実に接続されているか確認してください。

ツイストペアケーブルのLINK LED（左）が点灯しない場合

●ケーブルを該当するポートに正しく接続していますか？

●ケーブルはCAT5e以上で、長さは100m以内のものを使用していますか？

●ツイストペアポートに接続している機器は1000BASE-T対応ですか？

●RELAYモード設定時、全てのインタフェースの接続状態を確認するので
リンクが確立するまでに数秒時間がかかることがあります。

●ツイストペアケーブルに接続している機器が、IEEE802.3azや
メーカ独自の省電力モードで動作していませんか？
再度、ケーブルを抜き差しするか、接続機器の省電力モード設定を
解除してみてください。

故障かな？と思ったら

SFPポートのL/A（LINK/ACT）LEDが点灯しない場合

●SFPポートに接続している機器は、この装置と同じタイプ（1000BASE-SXまたは1000BASE-LX）のポートを使用していますか？

●MCG1100SP-SX（PN61324K）の場合、マルチモードの光ファイバーケーブルを使用していますか？ シングルモードの光ファイバーケーブルは使用できません。

●光ファイバーケーブルの送信と受信のケーブルが逆に接続されていませんか？

●光ファイバーケーブルに折れや接続部の汚れがありませんか？

●光ファイバーケーブルの長さが長すぎませんか？
お使いいただける光ファイバーケーブルと最大伝送距離は次の通りです。
PN54022挿入時：
最大伝送距離550m（50/125μm OM4 MMFケーブル（帯域4,700MHz・Km）使用時）
最大伝送距離550m（50/125μm OM3 MMFケーブル（帯域2,000MHz・Km）使用時）
最大伝送距離550m（50/125μm OM2 MMFケーブル（帯域500MHz・Km）使用時）
最大伝送距離500m（50/125μm OM2 MMFケーブル（帯域400MHz・Km）使用時）
最大伝送距離275m（62.5/125μm OM1 MMFケーブル（帯域200MHz・Km）使用時）
最大伝送距離220m（62.5/125μm OM1 MMFケーブル（帯域160MHz・Km）使用時）
PN54024挿入時：
最大伝送距離10km（ITU-T G.652対応SMFケーブル使用時）
最大伝送距離550m（50/125μm MMFケーブル（帯域500MHz・Km）使用時）
最大伝送距離550m（50/125μm MMFケーブル（帯域400MHz・Km）使用時）
最大伝送距離550m（62.5/125μm MMFケーブル（帯域500MHz・Km）使用時）

SFPポートのTX LEDが橙点灯している場合

●装置側に、何らかの異常が検出されています。
SFPモジュールの情報読み取り失敗、温度異常が考えられます。
10ページを参考に、改善を試みてください。

SFPポートのTX LEDが橙点滅している場合

●装置側に、何らかの異常が検出されています。
SFPモジュールの情報読み取り失敗、送信光強度異常が考えられます。
10ページを参考に、改善を試みてください。

SFPポートのRX LEDが橙点滅している場合

●装置までの、光ケーブルを含む、対向装置側に何らかの異常が検出されています。
SFPモジュールと光ファイバーケーブルの仕様の不一致、折れや曲がり、受光部に付着した汚れなどが考えられます。10ページを参考に、改善を試みてください。

SX,LX（SFPモジュール識別）LEDが点灯しない場合

●付属のSFPモジュール以外を使用していませんか？
PN54022またはPN54024をご使用ください。

SFPポートのTX（1000BASE-X送信）LEDとRX（1000BASE-X受信） LEDが点灯しない場合

●付属のSFPモジュール以外を使用していませんか？
PN54022またはPN54024をご使用ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

1. 保証書について

保証書は弊社ホームページからダウンロードしていただき、必ず保証書の『お買上げ日、販売店（会社）名』などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げの日より1年間です。

2. 故障時の対応について

『故障かな？と思ったら』に従って調べていただき、なお異常がある場合は、
お買い上げ日と下記の内容をお買上げの販売店へご連絡ください。

◆品名　MCG1100SP-SX／MCG1100SP-LX
◆品番　PN61324K／PN61325K
◆製造番号（本体底面に貼付されている11桁の番号）
◆異常の状況をできるだけ具体的にお伝えください。

●保証期間中は、
保証書の規程に従い製品交換をさせていただきます。
お買い上げの販売店まで製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは、
診断結果に応じて、ご要望により有償で製品交換させていただきます。
お買い上げの販売店にご相談ください。

3. アフターサービス・製品に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店もしくは下記の連絡先にお問い合わせください。

パナソニックEWネットワークス株式会社
TEL　03-6402-5301
FAX　03-6402-5304

4. ご購入後の技術的なお問い合わせ

■商品をご購入後の技術的なお問い合わせはフリーダイヤルをご利用ください。
IP電話（050番号）からはご利用いただけません。お近くの弊社各営業部にお問い合わせください。

フリーダイヤル **0120-312-712**　受付 9：30 ～ 12：00 ／ 13：00 ～ 17：00
（土・日・祝日、および弊社休日を除く）

弊社ホームページによくあるご質問（FAQ）および設定例を掲載しておりますのでご活用ください。
ご不明点が解決できない場合は、ホームページのサポート内容をご確認の上、お問い合わせください。
URL:http://panasonic.co.jp/ew/pewnw/support/index.html
なお、ご購入前のお問い合わせは、弊社各営業部にお願いいたします。
URL:http://panasonic.co.jp/ew/pewnw/resume/guideline/index.html